

2014年2月期
(2013年3月1日～2014年2月28日)
決算説明会

「食」創りのすべてを手がけ、「食」を進化させ続けるフード・イノベーター

わらべや日洋株式会社

(2918)

2014年4月15日





2014年2月期業績報告 及び2015年2月期業績予想

2014年2月期業績

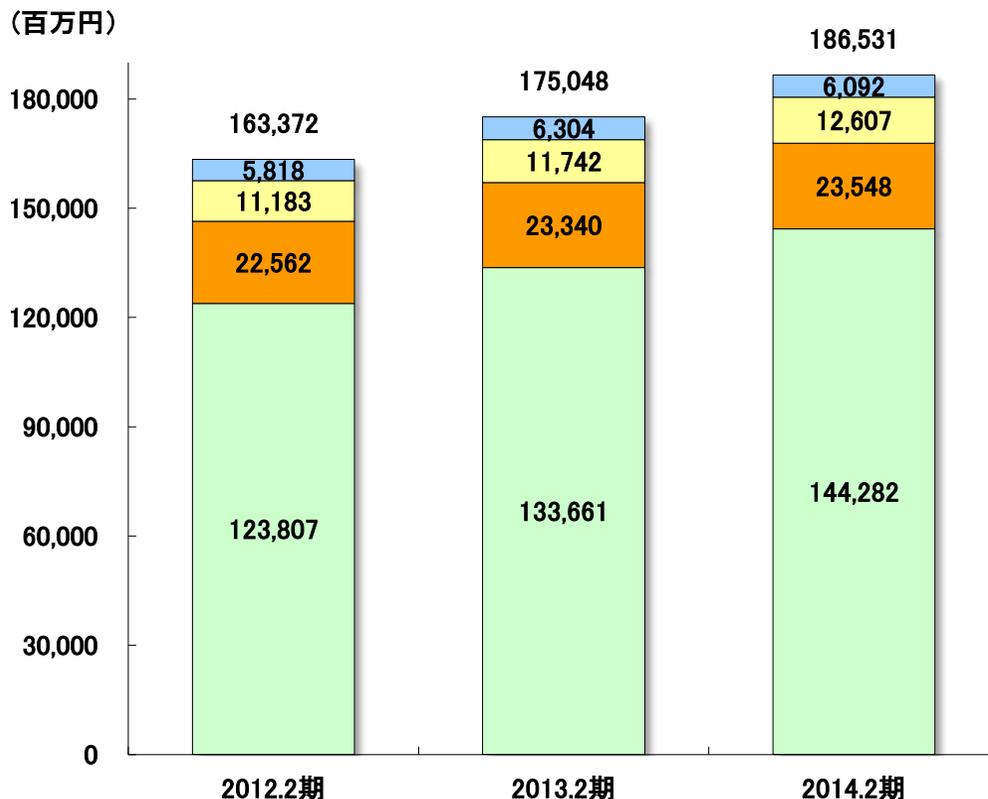
(単位:百万円)

	2013.2期	2014.2期		前期比	予想比
	実績	予想	実績		
売上高	175,048 (100.0)	186,000 (100.0)	186,531 (100.0)	11,482 <6.6>	531 <0.3>
営業利益	3,918 (2.2)	4,000 (2.2)	3,718 (2.0)	△199 <△5.1>	△281 <△7.0>
経常利益	4,114 (2.4)	4,200 (2.3)	3,957 (2.1)	△156 <△3.8>	△242 <△5.8>
当期 純利益	2,162 (1.2)	2,200 (1.2)	2,272 (1.2)	109 <5.1>	72 <3.3>
EPS(円)	130.11	124.90	129.01	△1.10	4.11

* ()内は売上比率(%)、<>内は増減率(%)、2014.2期予想値は2013年10月3日発表の予想数値

セグメント別売上高の状況

■食品関連事業 ■食材関連事業 ■物流関連事業 ■その他の事業



(単位:百万円)

	2013.2期	2014.2期	増減
売上高合計	175,048 (100.0)	186,531 (100.0)	11,482 <6.6>
食品関連事業	133,661 (76.4)	144,282 (77.4)	10,621 <7.9>
食材関連事業	23,340 (13.3)	23,548 (12.6)	208 <0.9>
物流関連事業	11,742 (6.7)	12,607 (6.8)	865 <7.4>
その他の事業	6,304 (3.6)	6,092 (3.2)	△212 <△3.4>

* ()内は構成比率(%) <>内は増減率(%)

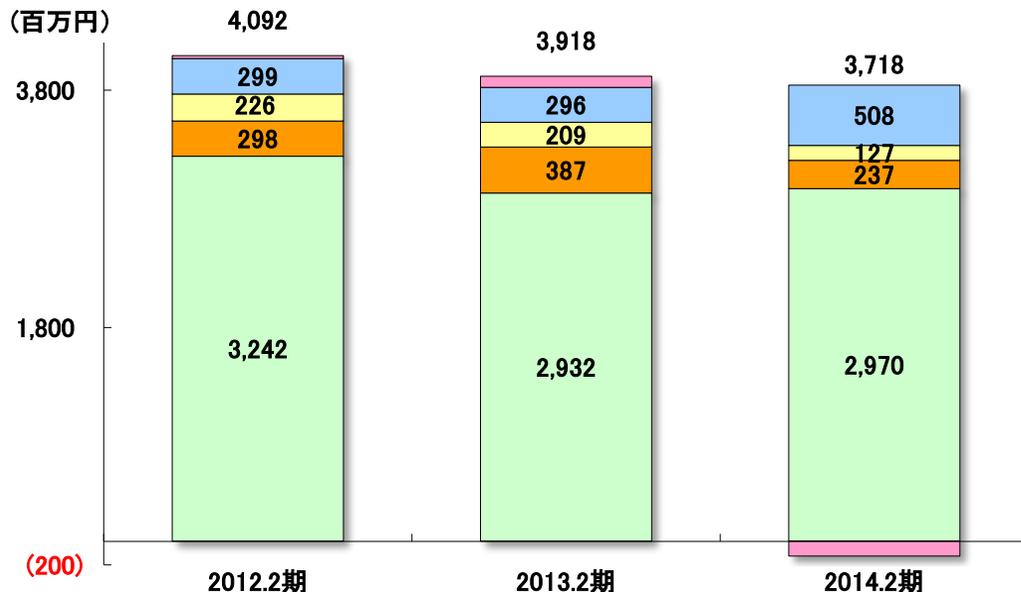
2014.2期 売上高増加の主要因—前期比約114億円の増加

- 食品関連事業:約106億円の増加(納品店舗増、チルド商品売上伸長)
- 食材関連事業:約2億円の増加(水産加工品等の売上伸長)
- 物流関連事業:約8億円の増加(セブン-イレブン向け配送の受託拡大)
- その他の事業:約2億円の減少(人材派遣事業の自動車産業向け等の受注減少)

セグメント別営業利益の状況

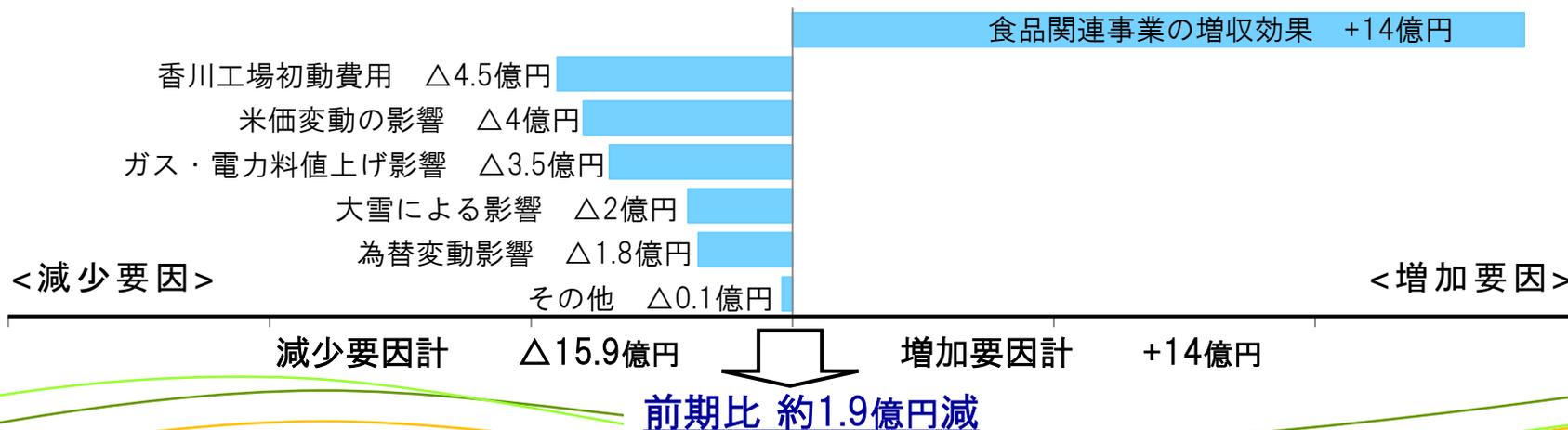
(単位:百万円)

■食品関連事業 ■食材関連事業 ■物流関連事業 ■その他の事業 ■消去



	2013.2期	2014.2期	増減
営業利益合計	3,918 (100.0)	3,718 (100.0)	△199 <△5.1>
食品関連事業	2,932 (74.9)	2,970 (79.9)	37 <1.3>
食材関連事業	387 (9.9)	237 (6.4)	△149 <△38.6>
物流関連事業	209 (5.3)	127 (3.4)	△82 <△39.4>
その他の事業	296 (7.6)	508 (13.7)	212 <71.4>
全社費用・消去	91 (2.3)	△125 (△3.4)	△217 <->

* ()内は構成比率(%)、<>内は増減率(%)



営業外損益・特別損益のポイント

(単位：百万円)

	2013.2期	2014.2期	増減
営業利益	3,918 (2.2)	3,718 (2.0)	△199 <△5.1>
営業外損益	196 (0.1)	239 (0.1)	42 <21.8>
経常利益	4,114 (2.4)	3,957 (2.1)	△156 <△3.8>
特別損益	△351 (△0.2)	△89 (△0.0)	261 <->
税金等調整前 当期純利益	3,763 (2.1)	3,867 (2.1)	104 <2.8>
法人税等合計	1,600 (0.9)	1,595 (0.9)	△5 <△0.3>
当期純利益	2,162 (1.2)	2,272 (1.2)	109 <5.1>

増減の主な内訳(前期比)

- 減損損失の計上 △89
- 倉庫閉鎖損失等の解消 351

* ()内は売上比率(%) <>内は増減率

貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

【資産】	2013.2期	2014.2期	増減
流動資産	26,037	29,044	3,007
固定資産	39,904	42,059	2,155
(有形固定資産)	(35,706)	(37,768)	(2,061)
(無形固定資産)	(503)	(348)	(△154)
(投資その他)	(3,693)	(3,942)	(249)
資産合計	65,941	71,104	5,162

(単位：百万円)

【負債・純資産】	2013.2期	2014.2期	増減
流動負債	19,276	22,031	2,754
固定負債	9,720	10,223	502
(有利子負債)	(8,840)	(9,425)	(584)
負債合計	28,997	32,255	3,257
純資産合計	36,943	38,848	1,905
(資本金)	(8,049)	(8,049)	-
負債・純資産合計	65,941	71,104	5,162

資産合計一約51億円の増加

- 流動資産(現預金、売上債権等)の増加：約30億円
- 固定資産(有形固定資産)の増加：約21億円

負債・純資産合計一約51億円の増加

- 流動負債(未払金、買掛金等)の増加：約27億円
- 固定負債の増加：約5億円
- 純資産(利益剰余金、その他の包括利益)の増加：約19億円

キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)

	2013.2期	2014.2期	増減
税金等調整前当期純利益	3,763	3,867	
減価償却費	3,678	3,854	
売上債権の増減額(△は増加)	△84	△1,347	
たな卸資産の増減額(△は増加)	215	△514	
仕入債務の増減額	502	551	
未払金の増減額	△36	702	
その他	822	63	
小計	8,860	7,178	
法人税等支払額	△2,388	△1,566	
その他	100	137	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,572	5,749	△823
有形固定資産の取得	△2,744	△2,957	
その他	△321	△323	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,065	△3,280	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	860	△1,788	△2,648
資金(現金及び現金同等物)増減額	4,379	712	△3,666

2015年2月期 業績予想

(単位：百万円)

	2014.2期 実績	2015.2期 予想	増減
売上高	186,531 (100.0)	204,000 (100.0)	17,469 <9.4>
営業利益	3,718 (2.0)	4,400 (2.2)	682 <1.8>
経常利益	3,957 (2.1)	4,500 (2.2)	543 <3.1>
当期純利益	2,272 (1.2)	2,450 (1.2)	178 <7.8>
EPS(円)	129.01	139.09	10.08

* () 内は売上比率 (%)、<>内は増減率 (%)

2014年2月期 総括及び今後の事業展開

- **連結売上高 1,865億円（過去最高）**
3期連続で前期比+100億円以上の増収
- **経常利益 39億円（前期比減益）**
上期米価上昇、下期大雪による影響
- **当期純利益 22億円（過去最高）**
 - ・セブンプレミアム 2商品発売（2013年6月、7月）
 - ・香川工場 稼働（2013年12月）
 - ・チルド米飯専用 浦和工場（仮称）設立を発表（2014年6月稼働予定）
 - ・岩手工場（仮称）設立を発表（2015年春稼働予定）

50周年を契機にグループ理念を新設

□ グループ理念（新設）

私たちは安全・安心と価値ある商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

□ 経営理念（変更）

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。

コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、社会から信頼される企業を目指します。

人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。

【中期重点施策】

□ 生産機能の強化

商品開発力

生産能力・生産技術力

品質・衛生管理力

□ 成長分野への取り組み

□ 人材の育成と活用

中期の重点施策 生産機能の強化

商品開発力

少子高齢社会、女性就労率の増

ニーズを捉えた
競争力のある商品開発

生産能力・生産技術力

セブン-イレブン事業の拡大

生産能力・生産エリアの拡大
新カテゴリー商品の生産体制確立

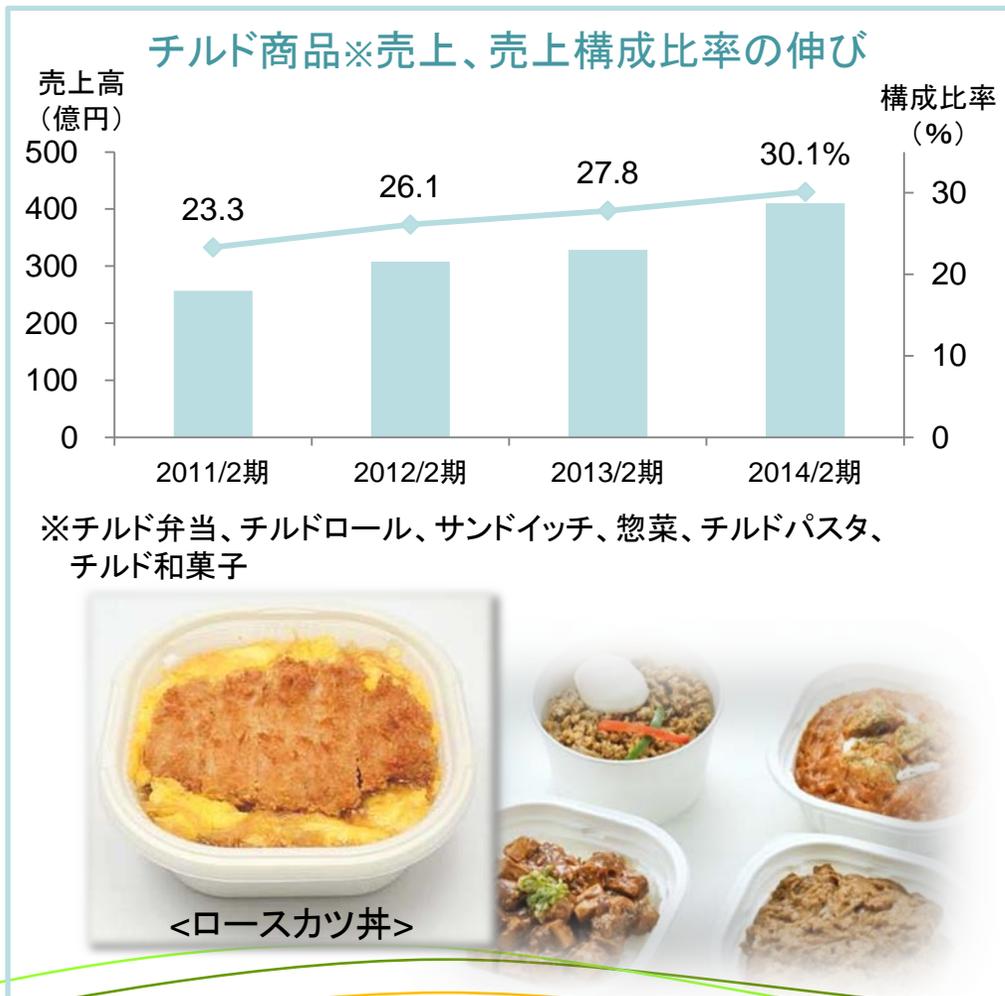
品質・衛生管理力

「食の安全」「コンプライアンス」の
意識の高まり

「安全・安心」への取組強化

➤ フレボグループ初のチルド米飯専用工場

「浦和工場(仮称)」稼働



【工場概要】

所在地 : 埼玉県さいたま市

生産品目 : チルド弁当

生産能力 : 10万食/1日

生産開始 : 2014年6月(予定)

中期の重点施策 生産機能の強化

商品開発力

➤ チルド商品のアイテム拡充

<チルド寿司>



➤ ニーズの変化への対応

<金のおむすび>



➤ 新規カテゴリー商品の開発

【セブンプレミアム】【冷凍商品】

中期の重点施策 生産機能の強化

生産能力・生産技術力

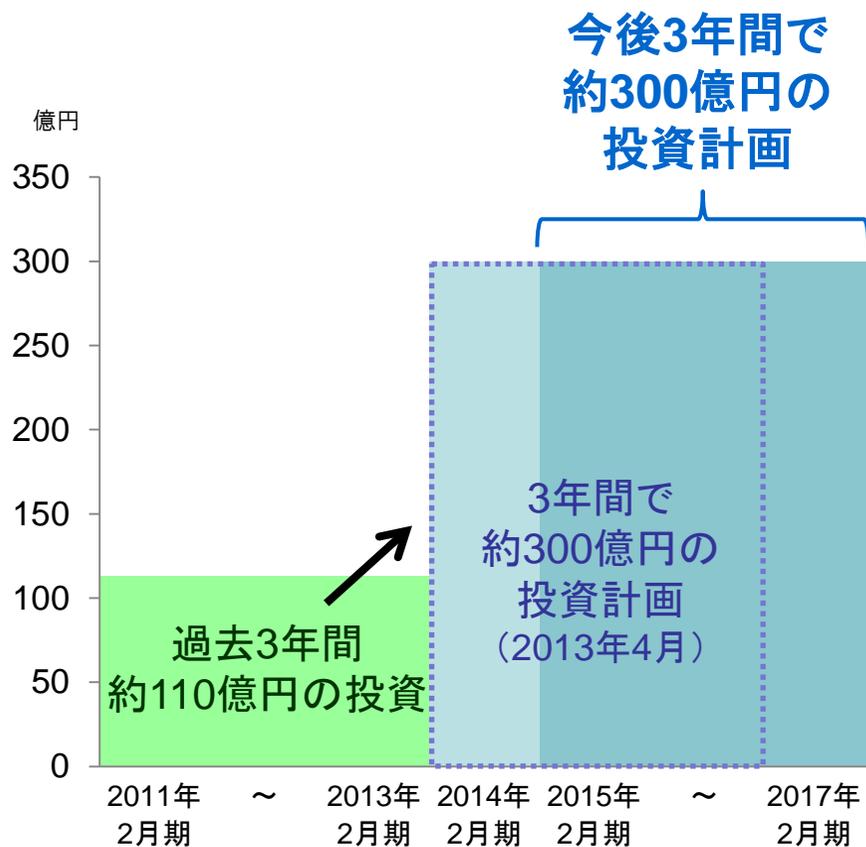
- 良品かつ生産効率化の実現を可能とする
機械化の推進

品質・衛生管理力

- 管理手法の高度化
- 運用ルール、トレーサビリティの徹底

中期の重点施策 成長分野への取り組み

セブン-イレブン事業の拡大に対応した設備投資



2013年3月 相模原工場第二

2013年12月 香川工場

2014年5月 浦和工場 (仮称)

2015年春 岩手工場 (仮称)

ほか、都市部を中心とした
生産能力増強

和菓子
専用工場

セブン-イレブン
四国進出

チルド
専用工場

セブン-イレブン
東北地方
出店拡大

都市部の
店舗増

中期の重点施策 成長分野への取り組み

▶グループ機能の強化

frevogroup



(株)日洋

- ・新たな商材の開発
- ・セブンプレミアム商品

(株)ベストランス

新規拠点の開設

- ・徳島県 徳島営業所(2013.3)
- ・滋賀県 多賀営業所(2013.5)
- ・神奈川県 羽沢営業所(2013.6)
- ・香川県 坂出営業所(2013.12)

中期の重点施策 成長分野への取り組み

▶ 海外事業展開

インドネシア

<Fresh Food Indonesia>

2014年3月 FFI社に対して、チルドメニューの開発等の技術供与を開始

中国

<北京旺洋食品有限公司>

2011年2月合弁会社設立、2012年5月工場稼働

<北京日洋欣榮商貿有限公司>

2012年12月設立(株)日洋の100%子会社)

米国

<WARABEYA USA, Inc.>

1982年6月設立、
2009年6月「ママ家」ブランド店舗を開始、現在2店舗

タイ

<CP ALL Public Company Ltd. >

2006年3月以降技術供与を継続

農林水産省

「第22回 優良外食産業表彰
海外進出・食文化普及部門 大臣賞」
(2014年3月24日)



- 生産機能を担うマネジメント人材の増強
- チャレンジ精神、創造性の高いグローバル人材の育成
- コンプライアンスの徹底

中期経営計画（連結）

3年後の売上高2,380億円、経常利益60億円以上へ

